



第157号

# 歳遊記

さいゆうき

【発行】  
公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会  
〒790-0843 松山市道後町2丁目9番14号  
ひめぎんホール別館内  
TEL 089-925-7424



## 新年のごあいさつ

(公財)愛媛県老人クラブ連合会  
会長 篠崎英夫

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は四国大会をはじめ、高齢者支援事業、健康づくり等各種事業に取り組みました。関係諸団体をはじめ、皆様方の力強いご支援ご協力いただきました。無事終了することができました。ここに心から厚くお礼申し上げます。

さて、全国老人クラブ連合会がメインターマとして「のはそー！健康寿命、担おう！地域づくりを」を掲げていることからおわかりのように、高齢者にとっては健康が最も大切であり、また友情あふれる仲間づくりを基本とした地域社会への貢献

も重要であります。今日ますます高齢化が進み、少子化とあいまって人口構造が一段と深刻化することが予想されております。また、政府は「億総活躍社会の実現を提起し、更に介護・医療を含む社会保障制度の見直しも検討しており、高齢者にとっては重要な課題であります。支援・介護の対象者が増加する事に対応するため、新地域支援事業の導入が予定されております。

新地域支援事業とは、高齢者が住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするため各地域関係諸団体による協議会で具現化されるものであり、老人クラブとしてもこれまで参画できるかが課題となっております。

さらに、100万人会員増強運動に



## 新年挨拶

愛媛県知事 中村時広

明けましておめでとございます。皆様方には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年の「ゆるキャラグランプリ」においては、みきゃんを応援いただき、誠にありがとうございました。みきゃんは、目標の「てっぺん」には届かなかったものの、準グランプリを獲得しました。今回のグランプリを通じて、飛躍的に高まった知名度と人気を生かし、イベント等における本県の魅力発信や、来年開催される「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」の更なる盛り

ひめ国体・えひめ大会」の更なる盛り

上げなどに取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続き、温かいエールをよろしく願っています。

さて、県では、「高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現」に向け、元気な高齢者の方々に活動の幅をより広げていただくことを目指し、平成26年度から、地域の介護を支えるボランティアの養成研修や、健康・生きがい・友情づくりを目的とした、スポーツサイクルの体験イベントを実施するなど、アクティブシニア事業を積極的に進めております。

このような中、老人クラブの皆様

ついでですが、昨年のご協力に感謝申し上げますと同時に、今年も引き続き目標に向かい皆様の知恵を出し合っ、新クラブの創設、クラブの復活、若い方々の勧誘に力を注いでくださるようお願いいたします。

また、マイナンバー制度が二十八年一月一日より実施される事となっております。本件にもなう消費者被害は特に注意が必要とす。振り込み詐欺等と同様、老人クラブとして引き続き被害防止に力を入れていくことが求められます。

これからの老人クラブにとって重要なことは、若手委員会、女性委員会の発足とそれらの育成充実強化であります。若い方々の意欲と活力が期待される今、先輩の経験と知識を活かし、次代を背負う後継者育成こそが急務であり、ひいては地域の活性化に必ず貢献寄与できるものと信じております。先輩方の後押しをぜひともよろしく願っています。

終わりに各老人クラブの更なる発展と会員皆様の「健康と多幸を心からご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

おかれましては、「健康・友愛・奉仕」を柱に、長年にわたり、独り暮らしの高齢者に対する訪問や地域見守りボランティア等の地域貢献活動を通じて生きがいづくりをはじめ、健康づくり大学校の開催や各種スポーツ大会への参加による健康増進活動に力を尽くされており、深く敬意を表します。

どうか皆様方には、今後とも、豊かな知識と経験を生かされ、老人クラブ活動の輪を大きく広げられますとともに、いつまでもお元気で、地域を支える担い手として御活躍いただき、「愛顔あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会並びに各単位老人クラブのますますの御発展と、会員の皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。

## 地域の方々と共に、要支援高齢者の介護・生活を支えよう！

### 「新地域支援事業」に向けての行動提案

介護保険制度の中で「要支援」に認定された高齢者への介護サービスは、市町村ごとに独自の「新地域支援事業」として実施することになりました。

この事業では、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域団体や住民参加による支え合いの体制を作ることが必要とされています。

そこで、老人クラブが行う事業（活動）が、高齢者の在宅生活を支える「新地域支援事業」として認められるよう、市町における協議の場に積極的に参画して、関係者との協働に努めましょう。

1. 老人クラブの事業（活動）が新地域支援事業として認められるよう、市・町に積極的に働きかけよう

老人クラブがこれまで取り組んできた友愛活動等の経験を活かし、介護予防・生活支援サービスの担い手として、行政や住民・関係者と協働した活動をすすめてみましょう。

具体的な事例  
○通いの場：交流サロン・喫茶室、趣味サークル、健康教室、体力測定、介護予防教室等

## 平成28年度 主な行事予定

平成28年度第56回愛媛県老人クラブ大会  
日時：平成28年9月7日（水）

平成28年度第58回四国老人クラブ大会  
（高知県）  
日時：平成28年8月3日（水）

平成28年度中国四国ブロック老人クラブリーダー研修会香川県大会  
日時：平成28年7月13日・14日

平成28年度第45回全国老人クラブ大会  
（富山県）  
日時：平成28年11月9日・10日

平成28年度愛媛県老人クラブスポーツ大会  
日時：平成28年10月26日（予定）

平成28年度愛媛県連健康づくり大学  
開催予定地：未定

2. 新地域支援事業に取り組むことで、会員増強運動に弾みをつける  
老人クラブが新地域支援事業の担い手として、会員のみなさん地域の高齢者による支援の輪を広げることが、現在すすめている「100万人会員増強運動」の成果にもつながるものと期待されます。

\* 愛媛県老人クラブ連合会の今後の動き  
県連は、老人クラブが新地域支援事業の担い手となることのできるよう、現在平成28年度に担い手研修を計画中です。また企画段階ですので詳細は未定ですが、若手・女性リーダーの活躍の場につなげたいと考えております。

### 第55回愛媛県老人クラブ大会開催

去る9月2日、ひめぎんホールサブホールにおいて、県下市町老連から会員800名が集い、第55回愛媛県老人クラブ大会が開催されました。

大会では、参加者全員による国歌斉唱のあと、物故された老人クラブ関係者に対し黙祷を捧げました。そして篠崎英夫県老連会長の挨拶に続いて、老人クラブに貢献された個人、団体等に対する表彰が行われました。

なお、各表彰の内訳は以下の通りです。(知事表彰として高齢者福祉関係功労者14名、会長表彰として優良老人



クラブ14クラブ、老人クラブ活動功労者47名、褒たたきり老人優良介護者16名、会員増強クラブ143クラブ、新設・復活クラブ8クラブ。

式典の後は、特別看護老人ホームアソカ園の元施設長、森川隆氏による「工ンディングノート・人生の最後まであなたが輝いて生きるために」と題する講演が行われました。この中で森川氏は「あの世の有無は誰にもわからない。だが、『物語の続き』を受け入れた方が、死への恐怖から解放され安心して旅立てる。看取る側も、死によってすべて無に帰すのではないと信じていること、燃え尽きることなく安心して関われる。人生のエンディングを考えるとき、死をどう捉えるかによって人生の質は大きく変わる。死は敗北ではない。命に限りがあり死があればこそ、命は輝く」と語りました。

講演に続いて愛媛県警察本部生活安全企画課の松下亮巡査部長による振り込め詐欺講話があり、今年度の愛媛県内における振り込め詐欺の被害額は8月末時点で既に4億2千8百万円を優

### 第55回愛媛県老人クラブ大会 大会宣言

私たちの地域社会は時代とともに大きく変化してきた。

都市化の進展やライフスタイルの変化はもとより、加速する少子高齢化は地域コミュニティの衰退を招き、特に高齢者の社会的孤立の大きな要因となっている。

一方、地域社会と積極的に関わりを持つ高齢者ほど健康寿命が長いことは周知の事実であり、地縁的なつながりが薄れる反面、共通の価値観や地域活動につながりを求める高齢者も増加している。

会員減少や後継者の不在など、老人クラブを取り巻く環境は依然と

に超えており、特に8月の被害金額は前年の13.6倍と桁外れに大きくなっているとして、あらためて参加者に対し注意喚起を呼び掛けた。

最後に、地域社会を支える担い手として、介護予防活動や安心安全の地域づくり積極的に取り組むとともに、100万人会員増強運動に呼応して会員加入促進運動を推進していくことなどを誓う大会宣言を採択して、大会は盛況裡に幕を閉じました。

### 愛媛県知事表彰受賞者氏名(敬称略)

- 松山市 重信 敏雄
- 松山市 伊達マサ子
- 松山市 豊田 昌實
- 今治市 田坂寛子澄
- 今治市 矢野 敏博
- 宇和島市 赤松 誠市
- 宇和島市 北川美代子
- 新居浜市 田中 實
- 西条市 越智 豊一
- 西条市 田中壽賀枝
- 大洲市 寺尾 庄一
- 大洲市 三好 一男
- 四国中央市 安藤孝三郎
- 四国中央市 高橋 功

呼応して、会員加入促進運動を推進する

一、住民共助による地域支え合い活動を推進する

一、健康づくり・介護予防活動に積極的に取り組み、すべての高齢者の健康維持・増進に努める

一、若い世代にも魅力あるクラブづくりを推進し、次世代リーダーを積極的に登用する

一、高齢者の交通事故撲滅運動や詐欺等の犯罪防止活動を推進し、安心・安全のまちづくりに努める

記

「100万人会員増強運動」に

平成二十七年九月二日 第五十五回愛媛県老人クラブ大会

### 第44回全国老人クラブ大会開催

第44回全国老人クラブ大会が10月28日・29日の両日、静岡県静岡市で「のぼそうー健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに開催され、本県からは12名が参加しました。

初日はテーマ別に3つの活動交流部会に分かれて活動事例発表が行われました。2日目は、久能山東照宮宮司 落合俣洲氏より「徳川家康公と久能山東照宮」と題して講演がありました。また、アトラクシオンでは、東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部チアリーダークラブによる華やかなチアリーディングがあり、会場は大いに盛り上がりました。式典では静岡県老連会長の歓迎の挨拶

に続いて、会員加入促進運動を推進する

一、住民共助による地域支え合い活動を推進する

一、健康づくり・介護予防活動に積極的に取り組み、すべての高齢者の健康維持・増進に努める

一、若い世代にも魅力あるクラブづくりを推進し、次世代リーダーを積極的に登用する

一、高齢者の交通事故撲滅運動や詐欺等の犯罪防止活動を推進し、安心・安全のまちづくりに努める

### 平成27年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

公益財団法人広島市老人クラブ連合会主催による平成27年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会が、7月9日・10日の2日間わたって広島県広島市において開催され、本県からは28名が参加しました。

初日は開会式に続いて全国老人クラブ連合会事務局の谷野香参事から「老人クラブとしての運動・行動提案」社会情勢を踏まえて」と題して基調報告があり、その後3つの分科会に分かれての研修がありました。

そのうち第1分科会では「会員増強運動の推進」をテーマに研究討議が行われ、ここでは本県から西条市丹原地区老人クラブ連合会副会長の今井幸子さんが、地元丹原地区における会員増強と魅力ある老人クラブづくりへ向けた取り組みについての活動事例発表を行い、その後情報交換や活発な討議が行われました。

2日目は、広島文教女子大学教授の菅井直也氏による講演、各分科会からの報告や質疑、講評等が行われました。来年度は香川県で開催されます。

◎受賞者  
◇育成功労表彰  
新居田 利忠(愛媛県老連副会長)  
武田 弘(愛媛県老連理事)

◇優良老人クラブ表彰  
今在家老人クラブ(西条市)  
横河原老人クラブ(東温市)



### 「平成27年度愛媛県健康づくり大学校」今年度は鬼北町で開講

愛媛県老人クラブ連合会では、平成14年度から、魅力ある老人クラブづくりと心身ともに健康な高齢者づくりのために、必要な知識の習得と能力開発を行い、老人クラブを活性化させ、さらには若手や女性リーダーが育つことを目指し、「健康づくり大学校」を開講しております。今年度は鬼北町総合福祉センターひまわりで開講され、7月14日に69名が入学いたしました。家庭の事情や体調などで、退学者が3名、出席単位があと少し足りなかった8名を除き、11月27日に58名が卒業いたしました。

この58名の中には宇和島市(旧三間町)から60名、松野町から6名も一緒に学び、交流を深めました。半数以上の32名が皆勤で卒業しました。講座は11回にわたり、病気の知識や予防、また楽しみながら体力をつけられる軽スポーツ、老人クラブ活動でも活用できるレクレーションから救急処置。また、心を豊かにする講演など、さまざま分野で学びました。卒業式の後には輝く笑顔で写真を撮り、30年後まで同窓会をすること決め散会となりました。

# 第57回四国老人クラブ大会

## 今年度は愛媛県で開催、370名が参加

四国老人クラブ大会は四国4県の持ち回りで開催されておりますが、今年度は愛媛県が主催となり、8月5日に松山市の道後プリンスホテルにて開催いたしました。参加者は368名、本県からは176名が参加し、盛大な大会となりました。

大会は、大会長である愛媛県老連の篠崎会長の開会あいさつ、表彰、来賓祝辞などの式典があり、続いて元NHKアナウンサー八木健氏による講演『50歳で学べる俳句の全て』が行われました。そして、休憩をはさんで各県の活動事例発表があり、その後大会宣言を採択して閉会しました。

活動事例発表では、本県からは松山市高齢クラブ連合会の多田羅美智子さんが、地元石井地区における女性リーダーの育成とその活動についての発表を行い、会員の6割を占める女性の活躍の場を広げ、会員増強につなげるこの大切さを訴えました。

来年度は高知県で開催されます。

四国老人クラブ大会会長表彰本県受賞者

能仁 賢全 (愛媛県老連副会長)

沖 則文 (愛媛県老連理事)

竹井 史一 (愛媛県老連)

井原 喜久男 (愛媛県老連)

岡本 恒夫 (愛媛県老連)

(前) 評議員

(前) 評議員



### 第57回四国老人クラブ大会 大会宣言

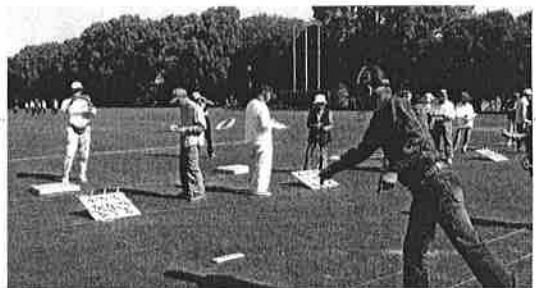
私たち老人クラブは、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を支柱とし、生きがいと健康づくりに取り組むと共に、半世紀にわたって、地域の安心と健全な発展に貢献すべく日々努めてまいりました。しかし、都市化の進展や世帯構造の変化に伴い、人と人とのつながりが薄れ、地域社会の結びつきも弱くなっており、それとともに、様々な世代の社会的孤立状況が浮き彫りとなっています。このような中、高齢者を代表する組織である老人クラブには、健康長寿への取り組みとともに、地域に対する深い愛着と豊かな経験を持って、人や地域とのつながりづくりを支援すると共に、次世代育成支援活動や地域全体での「支え合い」など、豊かな地域社会の創出に貢献していくことが求められております。

今、ここに四国四県の老人クラブ会員は、友情と連帯の輪を広げながら、各世代の人々と連携して、少子高齢化時代の地域づくりに取り組んでいくことを誓い、次のことを宣言します。

- 一、健康長寿を目指す健康づくり・介護予防活動の推進
- 一、地域社会と連携した安全・安心の地域づくりを推進
- 一、「100万人会員増強運動」に呼応した取り組みの推進
- 一、魅力あるクラブづくりと楽しい活躍の場づくりの推進
- 一、老人クラブへ理解を広げる情報発信の推進

平成27年8月5日  
第57回四国老人クラブ大会

# 「平成27年度愛媛県老人クラブスポーツ大会」開催



暑いからいい好天に恵まれ、10月21日愛媛県総合運動公園を会場に、県下の市町村クラブから214チームの参加による「老人クラブスポーツ大会」が開催されました。開会式には来賓として愛媛県知事村時広氏(兵頭昭洋保健福祉部長が代理)が臨席され、祝辞を頂きました。今年は愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」が終了、出場される皆様にかわいい応援をおくってくれました。ペタンク代表の兵頭千代美さん(宇和島市居)の選手宣誓を皮切りに3会場に分かれて競技がスタートしました。参加数は選手876名、競技運営委員や応援を含め1000人を超える大会となりました。5競技の結果は次の通りです。

書いらいの好天に恵まれ、10月21日愛媛県総合運動公園を会場に、県下の市町村クラブから214チームの参加による「老人クラブスポーツ大会」が開催されました。開会式には来賓として愛媛県知事村時広氏(兵頭昭洋保健福祉部長が代理)が臨席され、祝辞を頂きました。今年は愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」が終了、出場される皆様にかわいい応援をおくってくれました。ペタンク代表の兵頭千代美さん(宇和島市居)の選手宣誓を皮切りに3会場に分かれて競技がスタートしました。参加数は選手876名、競技運営委員や応援を含め1000人を超える大会となりました。5競技の結果は次の通りです。

- ▽クロケットの部  
優勝 大洲予子林(大洲市)  
準優勝 金田清涼会(四国中央市)  
三位 城西クラブ(宇和島市)
- ▽グラウンドゴルフの部  
優勝 榎河(西条市)  
準優勝 松前GGひまわりクラブ(松前町)
- 三位 小松地区老人クラブA(西条市)
- ▽ゲートボウルの部  
優勝 味酒クラブ(松山市)  
準優勝 荏原(松山市)  
三位 吉木長寿クラブ(松山市)
- ▽ペタンクの部  
優勝 宇和島土居(宇和島市)  
準優勝 八雲クラブ(四国中央市)  
三位 宇和島相原(宇和島市)
- ▽ワナゲの部  
優勝 多賀(西条市)  
準優勝 田之浜Aクラブ(宇和島市)  
三位 大西組原(今治市)

## 知っていますか 自分の体力 高齢者の体力測定啓発・普及モデル事業について



健康で生きがいのある生活を過ごすには体力が必要です。病気になるために、また病気になることも早く回復するために、そして何より自立した生活を送るために体力をつけておくことが大事になります。加齢とともに低下するといわれている体力ですが、努力次第では体力を保持することが可能です。

そのためには、まず自分の体力を客観的に総合的に評価する必要があります。高齢者の体力測定啓発・普及モデル

ル事業は、2年間を通じて4回、体力測定を実施し、その結果から、自分の体力を知り、継続的な運動を続けて体力を保持してもらうことを目的としています。この事業は平成十九年度から開催しております。

体力測定は6種目行います。①握力、②上体起こし、③開眼片足立ち、④10m障害物歩行、⑤長座体前屈、⑥6分間歩行です。県老連では用具の貸し出しをいたします。興味のあるクラブは市町老連を通じて、いつでもお申し出ください。

## 地域に広げよう友愛の輪 平成27年度高齢者相互支援事業について

県老連は、引きこもりがちな高齢者を地域で支えるため、モデル地区を指定して友愛活動を行う「高齢者相互支援推進事業」を毎年実施しております。これは、老人クラブ会員が地域の一人暮らしや引きこもりがちな高齢者を訪問して必要な情報を届けたり話し相手となったりして、地域社会の絆を保つとともに高齢者同士の支えあいの輪を広げようという活動です。

本年度はモデル老連として新居浜市、松前町、内子町が指定され、それぞれの地域に即した独自の活動を展開しています。

県老連では、今後事業を進めるにあたり中心的役割を担うシルバリーダーをモデル老連ごとに選任し、昨年8月、各モデル市町において相互支援推進連絡会議とリーダー養成セミナーを開催しました。

セミナーでは、シルバリーダーのみならず一般の会員も参加して、県生涯学習講師による講演や活動の進め方を丁寧に解説したビデオの上映が行われ、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。



告を行う「高齢者相互支援活動啓発セミナー」が、松山市のひめぎんホールにて開催されます。このセミナーでは、活動事例発表の他、兵庫県淡路島から池脇政子先生をお迎えし、地域助けあい活動についての講演も行われる予定です。



# 平成27年度 県老連女性リーダー研修会

## 開催される

平成27年度の県老連女性リーダー研修会が12月9日、ひめぎんホール別館第11会議室において開催され、県下各地から女性リーダー96名が参加しました。

研修会にはまず高岡小夜子県老連女性委員長(伊予市)、篠崎英夫県老連会長の挨拶で幕を開け、続いて松山市高連の山根千尋さんが全国女性リーダーセミナー報告を行いました。この中で山根さんは、全国から集まった女性リーダー達の情報交換や活発な協議が行われたことについて、熱心に語りました。

この後、伊予市わらべ合唱隊代表の中林久美子先生による「歌いあう、笑いあう、そんなひとときのふれあい」と題した講演が行われました。中林氏は登場するや否や、そのユーモアにあふれる巧みな話術で一気には聴衆を惹きつけ、講演の間笑い絶え絶えの事ばかりでした。助手の伴奏に合わせ、ゲーム要素を取り入れた簡単な振り付け。

# 1万人の会員増強運動報告

年々高齢者人口が増加する中、老人クラブの会員数は逆に減少し続けています。このため県老連では平成26年度から平成30年度の5年間で、1万人の会員増強運動に取り組んでおります。初年度(平成26年度)の結果は次のとおりとなっております。

26年度目標会員数93,295名 実績数88,418名 4,877名下回る  
(平成27年4月1日現在で集計)

会員の皆様には積極的に声かけやPR活動等行っていたらいておりますが、減少傾向は続いており、目標を大幅に下回りました。

ただ、八幡浜市老連(3名増)のよ

けと合唱で、会場を大いに沸かせました。

休憩をはさんで、後半は「魅力あるクラブづくり」をテーマに、西条市の今井幸子さんと内子町の中野純子さんによる事例発表が行われました。

まず、最初に今井さんが発表を行い、西条市が市を挙げて取り組んでいる会員増強運動「ひろげようGR&B運動」と、地元丹原地区で菊作り教室や椎茸栽培講習会、木工クラブといった特色ある活動を通じて会員増強を目指していることなどが紹介されました。

続いて、中野さんが内子町五十崎支部のレディース88とよばれる、女性部を中心としたグループの立ち上げとその活動について発表を行いました。

さほど期待もされずに発足した福祉文化部が、いかにしてレディース88という支部の花形グループに成長したのか、参加者は皆熱心に聞き入っていました。

その後情報交換や活発な討議が行わ

れ、盛会の内に27年度女性リーダー研修会は終了しました。

今年度の研修会は、県老連の女性リーダー研修会史上最大規模となる100名近い方々が参加され、大変盛況でした。今回の研修会で学んだことを、皆さんの生活や地元での活動に活かし、また周囲の方々にも伝えていただければと思います。



# 第3回若手委員会開催

平成27年11月10日(火)午後1時20分より、ひめぎんホール第13会議室において、愛媛県老連若手委員会の第3回会合が開かれました。平成25年に発足してから2期目にあたり、各市町老人クラブ連合会から推薦があった20名の方々が新たに選任されました。

最初に愛媛県老連会長の挨拶があり、続いて、出席した委員が各自自己紹介を行いました。その後議題に移り、現在の老人クラブが抱える問題点や加入促進につながる魅力的なクラブづく

## 事務局のつぶやき

明けましておめでとーございませう。平成27年度版「愛媛県老連だより」が出版されました。今年もよろしくお祈りします。

ただ、私の場合、こうして新しく形になった冊子のページをめくると、4月に着任してからのてんやわんやの日々と、ともすれば記憶の外へ押しやっていた出来事が次々とよみがえり、何とか今年度の事業が無事に遂行出来たという安堵感とは裏腹に、脇の下からじわっと湧いてくる冷や汗で、感動も相半ばといったところでしょうか。

まず、年度初めの支部説明会では、開催場所を聞いていたものの、その建物が数年前に新築移転している、私の古いカーナビに載っていません。開催時刻数分前にたどり着いた。先着の担当者を慌てさせました。

また、昨年度の歳遊記で「お会

りについてなど、活発な意見交換が行われました。なかには「問題は単に会員数だけ増えればいいという話ではなく、充実した活動があるか、魅力的なクラブになるかは、若い世代がどれだけ積極的に動くかにかかっている。そういった人を育てるには従来の勧誘方法では難しいのではないか」という意見もありました。また、篠崎会長は「この中で「会員増強のためには、入会すれば生き生きとした生活ができる、新しい仲間ができる、地域の社会

いしましょう」と呼びかけた第57回全国老人クラブ愛媛大会を仰せ付かったのですが、殆ど大詰めといったところで、大会宣言の発表を飛ばしてしまいうつらくなり、周りの方々はもちろん、宣言の発表者徳島県老人クラブ連合会の伊丹会長もびっくりされたことでしょうか。

このままではいかんと、10月21日の高齢者スポーツ大会では、我が家の4000ccランドクルーザーを駆使して、会場の総合運動公園内の3つの競技場にテントや机、椅子を運ぶ運搬係を請け負うことになりました。去年まで、男性は前事務局長のみ。他は3人の女性スタッフという準備体制で、力仕事は前事務局長が一手に引き受けていたようです。局長が女性になったからといって準備は抜かりのないようにしないと、参加して下さる方々に申し訳が立ちません。

と、大きな意気込みで臨んだ準備作業でしたが、ひょんなことから県庁の長寿介護課から若い男女4人が助っ人として加勢して下さることにになり、作

活動に参加できる等といったメリットをもっとPRする必要が。また、地域にある他の組織と連携し協力していくため協議会などの立ち上げを検討してみてもいいのではないかと述べました。

そして最後に、若手委員会委員長に今治市の吉良雅文氏、副委員長に松山市の小黒聰氏、内子町の門田正義氏をそれぞれ互選し、第3回若手委員会は閉会しました。

業はともスムーズに進みました。また、その中の若い小柄な女性の可憐さに同情したのか、総合運動公園の係員がテントの支柱やシート全てを軽貨物自動車運んでくれることになり、私の出番は激減しました。

当日は好天に恵まれ、千人余りの参加者が各種軽スポーツを競い合い、一人のけが人も出ず、全ての競技を盛会裏に終えることが出来ました。

おまけに、例の女性職員2名が交代で、ゆるぎやらグラウンプリ2位となった「みきゃん」に扮し、各会場に向いて選手の方々に応援して欲しいというおまけもありました。

10月下旬にしては、汗ばむどころか夏の再来を思わせる一日が終わり、やっと少しだけ肩の荷を下ろした気分、ハンドドルも軽く帰途についた次第です。

事務局長 京極 眞弓